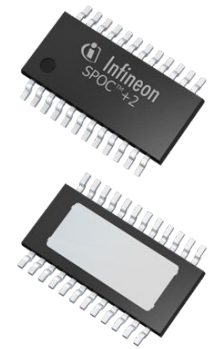


SPOC™ +2 シリアルインタフェース パワー コントローラー、*-ESPデバイスによる製品ファミリーのラインアップ拡大

SPOC™+2マルチチャンネル ハイサイド スイッチのラインアップを拡張: 既存の*-ESA製品と同じ機能セットとフルファミリーとの互換性を備えながら、新しい低電圧コンセプトと低電圧シャットダウン後のスイッチオン動作に対応。電源電圧低下回復時間tDELAY (UV)が不要となり、ヒューズやリレーの交換、ECU/センサーへの電源供給などの配電アプリケーションに対応します。

SPOC™ +2ファミリーは、あらゆる種類のドメインおよびゾーンアプリケーションへ、さらに多くのパーティショニングの機会を提供します。



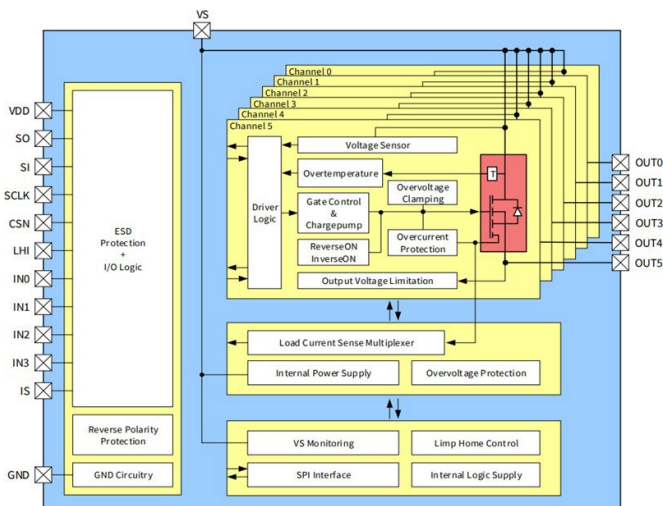
主な特長

- > 診断/保護機能用のデジタイズチェーンを備えたSPIインターフェースのハイサイドスイッチ
- > 全チャンネルに対して、リスタートストラテジー、過電流閾値、kILIS レンジ、スルーレート制御を設定可能
- > オープンロードおよびVs短絡検出
- > フェイルセーフ動作のリンプホーム モード
- > インフィニオンのISO 26262Ready製品ラインアップの一部で、安全アプリケーションノート付き
- > 新しい低電圧保護コンセプトにより、遮断、電圧変動といった様々な要件に対応

競合製品に対する優位性

- > SMART7製品 (PROFET™ファミリー) 内でピン互換
- > 高い信頼性と短絡耐量
- > モノリシックな1メタル層設計による競争力のある価格設定
- > SPIデジタイズチェーン機能を備えたマルチチャンネル デバイスにより、必要なマイクロコントローラー/I/Oの数を最小限に抑えることが可能

ブロック図



製品概要およびユーザーマニュアルへのリンク

発注可能な部品番号	SP 番号	パッケージ
BTS710336ESPXUMA1	SP005582332	PG-TSDSO-24
BTS710404ESPXUMA1	SP005582330	PG-TSDSO-24
BTS712204ESPXUMA1	SP005582334	PG-TSDSO-24
BTS722204ESPXUMA1	SP005582328	PG-TSDSO-24

主な利点

- > 拡張性: ピン配置、機能、ソフトウェアの互換性による高いモジュール性
- > 性能: 保護、スルーレート、診断の設定
- > 柔軟性: 広範囲なR_{DS(ON)}とチャンネル並列化
- > 品質: AEC-Q100 - Grade1. ISO26262 – Ready製品。

対象アプリケーション

- > 電力分配系アプリケーション
 - > ヒューズ/リレーの置き換え
 - > BCM, PDC
 - > ECUへの電源供給
- > 照明
 - > LED、ハロゲン、HID
 - > インテリア&アンビエント
 - > BCM (TI、フォグなど)
 - > フロント&リアライト
- > ADAS
 - > レーダーセンサー
 - > カメラ
 - > 超音波センサー
- > 暖房
 - > サイドミラー
 - > センサー
 - > 低電力加熱アプリケーション

製品関連情報/オンライン サポート

[製品ファミリーページ](#)

FAQ【SPOC™ +2 シリアルインタフェース パワー コントローラー、*-ESPデバイスによる製品ファミリーのラインアップ拡大】

FAQ	
1. Why can SPOC™ be more expensive than a discrete solution?	SPOC™ brings savings on system level where integration has a value: I/O savings & MCU load, P _{diss} , PCB space, configurable features
2. What is the fail-safe strategy, if one SPOC™ fails in a daisy-chain configuration?	When the SPI does not work anymore, the MCU will recognize it. In this case the channels can be activated via the limp home function.
3. Why is no PWM generator integrated in SPOC™ devices?	MCU prices are getting cheaper for even more peripherals, like PWM signal generation. Generating PWM from the power driver does not save MCU resources: the MCU must be fully synchronized with the power driver for diagnostics support + duty cycle is still calculated by the MCU to offset battery voltage variations in most cases. We recommend to generate the PWM signal via SPI.